

今後の委員会の進め方

今後は、原則年1回の委員会を開催し、試験用計画、モニタリング調査計画、本運用のための運用計画、モニタリング結果について意見・助言を頂く。
 実施時期は、環境調査結果のとりまとめ完了後の2月頃を予定。

	H17度 (2005)	~	H28度 (2016)	H29度 (2017)	H30度 (2018)	H31度 (2019)	H32度 (2020)	H33度 (2021)	H34度 (2022)	H35度 (2023)	H36度~ (2024)			
土砂バイパス														
湖内堆砂対策施設														
試験運用期間														
本運用														
モニタリング														
事前モニタリング調査														
事後モニタリング調査														
継続調査														
審議事項	—		【試験運用前】 ・ 施設運用前の環境把握及び試験運用開始までに実施すべき事項の対応 →運用計画 →試験運用計画 →環境影響予測 →モニタリング調査計画					【試験運用期間】 ・ 本運用に向けた試験期間の各種検証 →モニタリング調査結果の分析 →試験運用計画の見直し →本運用のための「運用計画」「モニタリング計画」の策定			【本運用開始】 ・ 運用計画に従った操作運用と定期的なモニタリング調査			
モニタリング調査の位置付け	H11~16:土砂バイパス施設事前調査 H17~21:土砂バイパス施設事後調査 H22~29:水質調査のみ実施				事前モニタリング調査				事後モニタリング調査				継続調査	
委員会開催	—		5回/2年 ・H28度:3回 ・H29度:2回		1回/年×3ヵ年(予定) ・時期:2月頃			1回/年×3ヵ年(予定) ・時期:2月頃			中部地方ダム等管理フォローアップ委員会等に移行(予定)			